

教科(科目)	社会と情報	単位数(時数)	1 単位(3 7)	学年(科)	1 学年
使用教科書	実教出版『最新 社会と情報』新訂版				
副教材等	Word、Excel、PowerPoint (Microsoft 社)、情報モラルのプリント				

### 1. 学習目標

情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、情報社会と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

### 2. 指導の重点

- ①情報産業と社会との関わりについての基礎的な知識と技術を習得する。
- ②情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ③情報と情報手段を活用した問題の発見と解決に関する基礎的な知識と技術を習得する。

### 3. 評価規準と評価方法

#### 評価規準

- 情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。(関心・意欲・態度)
- 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。(思考・判断・表現)
- 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。(技能)
- 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。(知識・理解)

#### 評価方法

- ・授業への取り組み方や授業態度、提出物の内容および提出状況
- ・パソコン実習における実技試験の成績
- ・定期考査やプレゼンテーションの成績

以上の3項目などから総合的に評価する。

### 4. 学習アドバイス

- ①パソコンの基礎的な知識・技術を身につけよう。  
パソコン実習の時間を有効的に利用し、様々なソフトの使用に慣れることが大切である。
- ②情報を収集・処理・発信する力を身につけよう。  
人間の行動は情報によって左右される。そのため、情報社会におけるたくさんの情報から自身にとって有効なものを選び取る必要がある。現代の社会状況を知り、正しく情報を収集・処理・発信する心構えを身につけてほしい。
- ③読書の習慣を心がけよう。  
情報の根本となるものが活字を読み取る力である。ぜひ、日常から読書を習慣にしてもらいたい。

(担当：小林 高志)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	1章 情報社会と私たち	2	ガイダンス Word	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と心構え</li> <li>・情報社会の理解</li> </ul>
5	1節 情報社会			
	2節 情報とメディア	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピングと文字入力</li> <li>・文書作成ソフトを利用して文書を作成する</li> </ul>
	3節 情報モラルと 社会のルール			
6	2章 情報機器と デジタル表現	3	Word Excel	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成ソフトを利用して文書を作成する</li> <li>・表計算ソフトを利用して基本的な操作ができる</li> </ul>
7	1節 情報機器とデジタル (前期中間考査)	4	インターネット利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル「情報化の光と影」</li> <li>・レポートの作成法を学び、実践する</li> <li>・情報モラル「情報とメディア」</li> </ul>
	2節 デジタル表現			
8	3章 表現と伝達	2	Excel PowerPoint	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの操作とマナーを身につける</li> <li>・調査結果に基づくプレゼンテーションを行う</li> </ul>
9	1節 表現の工夫 (前期期末考査)			
	2節 表計算ソフトの利用	3	インターネット利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル「個人情報」</li> </ul>
	3節 プレゼンテーション			
10	4章 コミュニケーションと ネットワーク	4	Excel PowerPoint	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトを利用して基本的な操作ができる</li> <li>・情報モラル「知的財産・著作権」</li> </ul>
11	1節 コミュニケーション	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトを利用しやや高度な操作ができる</li> <li>・情報モラル「情報セキュリティ」</li> </ul>
	2節 ネットワーク			
12	(後期中間考査)	3		
	3節 情報セキュリティ			
1	5章 情報社会と問題解決	3	インターネット利用 PowerPoint	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用し興味のある大学の学部や学科を調べる</li> <li>・プレゼンテーションソフトの操作とスキルを高める</li> </ul>
2	1節 情報システムと人間 (後期期末考査)			
	2節 問題解決	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調べた内容についてプレゼンテーションを行い、相互評価をする</li> <li>・変わっていく情報社会</li> <li>・知識の確認と理解を深める</li> </ul>
3	3節 情報発信	2		

計 37 時間（48 分授業）

- ※ 上記の Word、Excel、PowerPoint はいずれも Microsoft 社製である。
- ※ 学習指導要領にある「情報の活用と表現」、「情報通信ネットワークとコミュニケーション」については、学校設定科目「スーパーグローバル国際」または「スーパーグローバル情報」において、SGH の課題研究とともに学習している。